

# まちの話題

SHIMOTSUKE-CITY  
TOPIX

## 農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版

農地・水・環境保全向上対策を実施する下野市の4活動組織（柴地区環境保全会、仁良川の里保全会、笹原地域環境保全会、石橋南部環境保全会）では定期総会も終わり21年度の事業を本格的にスタートさせました。



晴天に恵まれた5月10日(日)、石橋南部環境保全会(会長 布施俊男氏)では、昨年景観形成事業として取組んだれんげ畑の周辺で「Inaho(いなほ)れんげ祭り」を初めて開催し、地区内外から多くの方が訪れました。当日は保全会関係者だけでなく、地元企業なども参加協力をいただき、普段の共同作業だけでは得られない幅広い地域や世代間での楽しい交流を持つことができました。

今後もこのような交流会を持ちながら、農村環境の保全について考え、地域のまとまりをさらに深めていきたいと思えます。



5月25日(月)柴地区環境保全会(会長 早瀬智之氏)では、国分寺東小学校4・5年生による田植え体験を行いました。児童たちは、会員より田んぼや用水の役割や田植えの仕方を教わり、田んぼの中の感触に歓声をあげながら10アールの田植えを上手に行いました。今度は秋の稲刈り体験が楽しみです。

## 小学1年生拳士が大活躍

4月29日(水)、第28回空手道少年錬成大会が県南体育館で開催されました。この大会で祇園小学校の永山幹稀君が見事、小学1年男子形の試合で準優勝に輝きました。永山君はこの後、8月8日(土)に東京武道館で行われる全日本少年少女空手道選手権(文部科学省後援)に出場します。活躍を期待しています!



一友会薬師寺空手道クラブ 薬師寺幼稚園体育館内の他、市内各公共施設で稽古しています。

## 留学生が田植え体験をしました

5月16日(土)、東京学芸大学の留学生(19か国、24名)が引率の教授とともに本吉田北の林安雄さんの田んぼで田植え体験を行いました。この体験は、日本の文化・社会の理解を深めるために大学のプログラムの一環として行われたもので、留学生たちは林さんから稲作に関する話を聞いた後、裸足で田んぼに入り、手植えの実習を行いました。

